

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 4 月 11 日

岡山地方裁判所津山支部

裁判所書記官 江 本 徹

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 5 月 8 日 午前 9 時 00 分から 令和 7 年 5 月 15 日 午後 4 時 30 分まで
開札期日	日 時 令和 7 年 5 月 21 日 午前 11 時 00 分 場 所 岡山地方裁判所津山支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7 年 6 月 11 日 午前 10 時 00 分 場 所 岡山地方裁判所津山支部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 4 月 11 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 5 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	875,000 700,000	一括	180,000	20,983	0
1	346,000				
2	477,000				
3	52,000				



物 件 目 録

- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | 所 在 | 津山市新田字回り屋 |
| | 地 番 | 2 4 5 番 1 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 7 6 1. 0 0 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 津山市新田字回り屋 2 4 5 番地 |
| | 家屋 番号 | 2 4 5 番の 1 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 1 2 3. 3 3 平方メートル
2 階 3 4. 8 4 平方メートル |
| | (附属建物) | |
| | 符 号 | 1 |
| | 種 類 | 物置 |
| | 構 造 | 木造瓦葺平家建 |
| | 床 面 積 | 3 3. 0 9 平方メートル |
| 3 | 所 在 | 津山市新田字回り屋 |
| | 地 番 | 2 4 5 番 2 |
| | 地 目 | 雑種地 |
| | 地 積 | 3 1 平方メートル |



物 件 明 細 書

令和 6年 3月 8日

岡山地方裁判所津山支部

裁判所書記官 関 高 幸

1 不動産の表示

【物件番号1～3】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1～3】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2、3】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。



- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、B I Tのお知らせメニューにも登載されています。



物 件 目 録

- 1 所 在 津山市新田字回り屋
 地 番 2 4 5 番 1
 地 目 宅地
 地 積 7 6 1. 0 0 平方メートル

- 2 所 在 津山市新田字回り屋 2 4 5 番地
 家屋 番号 2 4 5 番の 1
 種 類 居宅
 構 造 木造瓦葺 2 階建
 床 面 積 1 階 1 2 3. 3 3 平方メートル
 2 階 3 4. 8 4 平方メートル
 (附属建物)
 符 号 1
 種 類 物置
 構 造 木造瓦葺平家建
 床 面 積 3 3. 0 9 平方メートル

- 3 所 在 津山市新田字回り屋
 地 番 2 4 5 番 2
 地 目 雑種地
 地 積 3 1 平方メートル



現況調査報告書

第 1 分類	枚目
物件目録	1
土地・建物用	2
土地用	3
関係人の陳述等用	4
執行官の意見用	5
調査経過用	6
第 2 分類	
土地建物位置関係図	7
建物間取図	8
写真 (1 5 葉)	9 ~ 1 3

岡山地方裁判所津山支部

執行官 田 野 口 慎

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- 1 所 在 津山市新田字回り屋
 地 番 2 4 5 番 1
 地 目 宅地
 地 積 7 6 1. 0 0 平方メートル

- 2 所 在 津山市新田字回り屋 2 4 5 番地
 家屋 番号 2 4 5 番の 1
 種 類 居宅
 構 造 木造瓦葺 2 階建
 床 面 積 1 階 1 2 3. 3 3 平方メートル
 2 階 3 4. 8 4 平方メートル
 (附属建物)
 符 号 1
 種 類 物置
 構 造 木造瓦葺平家建
 床 面 積 3 3. 0 9 平方メートル

- 3 所 在 津山市新田字回り屋
 地 番 2 4 5 番 2
 地 目 雑種地
 地 積 3 1 平方メートル



不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	(住居表示未実施)		
土地	物件1		
現況地目	☒ 宅地(物件1) ☐ 公衆用道路(物件) ☐ (物件)		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)		
その他の事項			
建物	物件2		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる(☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類: 構造: 床面積:		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を住居及び物置として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 支部 令和 年()第 号 保管開始日 令和 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(土地用)

不 動 産 の 表 示		「物件目録」のとおり			
住 居 表 示		(住居表示未実施) 付 近			
土 地		物件 3			
現 況 地 目	☐ 宅地 (物件) ☐ 公衆用道路 (物件) ☐ 農地 (物件) ☒ 雑種地 (物件 3) ☐ 山林 (物件) ☐ ☐				
形 状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐				
占 有 者 及 び 占 有 状 況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 ☐ 上記の者が本土地上に、下記目的外建物を所有し、占有している ☐ 上記の者が駐車場として使用し、占有している ☐ 上記の者が更地の状態で占有している ☒ 上記の者が雑種地として占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり ☐				
そ の 他 の 事 項					
執 行 官 保 管 の 仮 処 分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 支部 令和 年 () 第 号 保管開始日 令和 年 月 日				
建 物 (目 的 外 建 物)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外建物の概況」のとおり)				
土地建物の位置関係	☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☐ 土地建物位置関係図のとおり				

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(3 枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
☒ A (所有者)	(1) 物件2建物については、私一人が住んでいます。主建物1階の床が抜けている箇所があり、ベニヤ板を置いています。また、2階への階段は急傾斜になっており、落ちて怪我をしたことがあるので、主建物2階へは上がることはありません。

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

■

- (1) 物件2建物については、関係人の陳述及び現場の状況から、所有者が住居及び物置として使用しており、その他第三者の占有はうかがえない。
- (2) 物件1土地は、その南側で、物件3土地は、その北側で市道（大崎179号線）に接する。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
5年12月20日（水） 13：30－13：50	岡山地方法務局津山支局	公図閲覧、要約書申請
5年12月20日（水） 14：10－14：20	物件所在地	物件調査（不在）
5年12月26日（火） 13：35－13：50	物件所在地	物件調査（不在）
5年12月28日（木） 13：30－13：40	岡山地裁執行官室	所有者から電話聴取
6年 1月12日（金） 16：10－16：20	岡山地裁執行官室	所有者から電話聴取
6年 1月22日（月） 10：30－11：40	物件所在地	物件立入調査（評価人同行）、間取確認、写真撮影
年 月 日（ ） ： ー ；		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(6 枚目)

土地建物位置関係図 (概略)

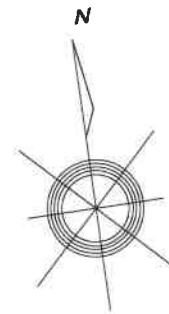
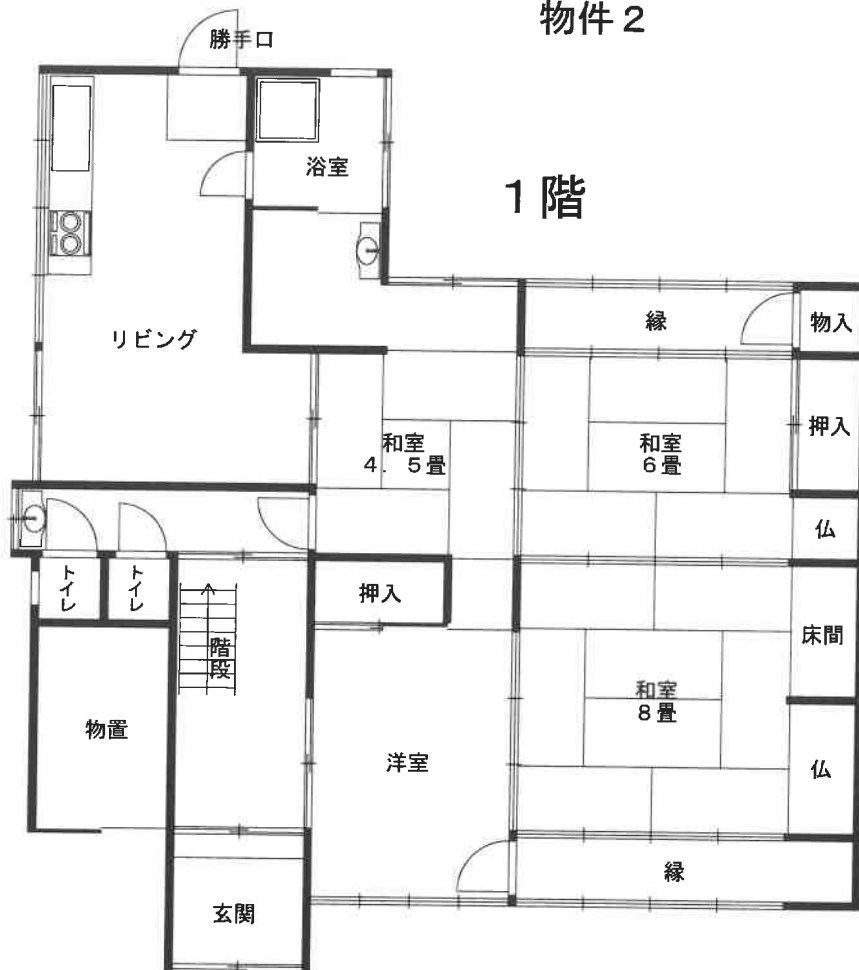


※本図に示す土地建物の範囲及び位置関係は概略であり、正確な測量等によるものではないことに留意して下さい。

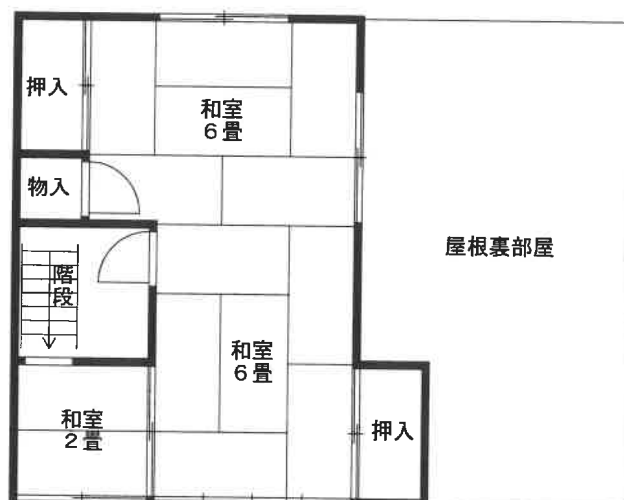
↑ 印は写真撮影位置
○ 方向写真番号

建物間取図

物件 2



2 階



附属建物
符号1



(8 枚目)

写真 1

物件 1 土地

主建物



写真 2

下屋

符号 1 附属建物

主建物

物件 1 土地



写真 3

簡易物置

物件 1 土地



写真 4

物件 1 土地

主建物



写真 5

主建物

符号 1 附属建物

物件 1 土地



写真 6

物件 3 土地

市道



写真7（主建物1階リビングダイニング）



写真8（主建物1階浴室）



写真9（主建物1階和室4.5畳）



写真10（主建物1階トイレ）



写真11（主建物1階和室8畳）



写真12（主建物1階南西側物置）



写真 1 3 (主建物 2 階北側和室 6 畳)



写真 1 4 (主建物 2 階南側和室 6 畳)



写真 1 5 (符号 1 附属建物北側物置)



評 第 1360 号
令和5年 (又) 第 11 号
令和6年1月22日 現地調査
令和6年2月9日 評 価

岡山地方裁判所 津山支部 御中

評 価 書

評価人 藤川 亮

第1 評価額

項目	物件番号	種類	評価額
一括価格	一括 (物件1～3)	土地建物	金 1,778,000 円
内訳価格	1	土地	金 703,000 円
	2	建物	金 972,000 円
	3	土地	金 103,000 円

- ① 一括価格とは、物件番号記載の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格とは、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 上記土地の内訳価格は建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、建物の内訳価格は当該土地利用権等価格を建物自体の価格に加算した価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、原則として買受希望者が事前に物件に立ち入ることができないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件状況の変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

物件番号	種類	所在等	登記	現況
1	土地	所在地番目積	津山市新田字回り屋 245番1 宅地 761.00m ²	概ね同左。
2	建物	所在地 家屋番号 種類 構造 床面積	津山市新田字回り屋 245番地 245番の1 居宅 木造瓦葺2階建 1階： 123.33 m ² 2階： 34.84 m ² 延 158.17 m ²	概ね同左。
		(附属建物) 符 号 種 類 構 造 床 面 積	1 物置 木造瓦葺平家建 33.09m ²	概ね同左。
3	土地	所在地番目積	津山市新田字回り屋 245番2 雑種地 31m ²	概ね同左。
物件番号	特記事項			
	ない。			

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等 (物件1)

位 置・交 通	JR姫新線 美作大崎 駅 の 北東 方直線約 750 m (「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	古くからの住宅が散在している住宅地域	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別 的な規制を考慮しな い一般的な規制)	都市計画区分 : 非線引都市計画区域 用 途 地 域 : 用途指定なし 建 ぺ い 率 : 60 % 容 積 率 : 200 % 防 火 規 制 : 建基法第22条区域 その他の規制 : なし	
画 地 条 件 (規模・形状等)	規 模 : 761.00㎡ 間 口 : 約 25.0 m 奥 行 : 約 30.0 m 形 状 : 略長方形 接面状況 : 中間画地 地 勢 : 略平坦	
接 面 道 路	方 位 : 南側 幅 員 : 約3.5m 舗 装 : 有 種 類 : 市道 (大崎179号線) 高低差 : 略等高 摘 要 : 42条2項道路	
土地の利用状況 及び隣地の状況等	物件番号2の建物が存する。隣地は住宅、雑種地、山林である。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : 有 ガ ス 配 管 : 無 下 水 道 : 無	※供給処理施設における「有」とは対象物件の前面道路に該当施設の本管 (以下施設管という) が通っており、通常で費用で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「無」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役所での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用出来るかどうか不明な場合をいう。
特 記 事 項	敷地のうち建物の北側背後部分是一部竹林となっている。 西側には未舗装の里道がある。	

2 建物の概況及び利用状況等 (物件2)

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建 築 年 月 日 : 不明（登記上） 経 過 年 数 : 一 年 経済的残存耐用年数 : 0 年 (主体部分) 増 改 築 時 期 : なし
仕 様	外壁 : 塗り壁 (洋室) (和室) 天井 : 板張り 板張り 内壁 : 砂壁 砂壁 床 : 絨毯 畳 その他: ー
建 物 の 品 等	中品等
床面積（現況）	前記「第3目的物件」欄記載のとおり
現 況 用 途 等	現 況 用 途 : 前記「第3目的物件」欄記載のとおり 間 取 : 現況調査報告書「建物間取図」のとおり
保守管理の状態	著しく劣る
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり
特 記 事 項	経年劣化により建物の老朽化が進んでおり、傷みや汚れも多く見られる。床が抜けている箇所もある。

3 建物の概況及び利用状況等（物件2）

区 分	附属建物符号1
建築時期及び経済的残存耐用年数	建 築 年 月 日 : 不明（登記上） 経 過 年 数 : 一 年 経済的残存耐用年数 : 0 年 （主体部分） 増 改 築 時 期 : なし
仕 様	外壁 : 板張り、塗り壁 天井 : なし 内壁 : 土壁 床 : 土間 その他: ー
建 物 の 品 等	並品等
床面積（現況）	前記「第3目的物件」欄記載のとおり
現 況 用 途 等	現 況 用 途 : 前記「第3目的物件」欄記載のとおり 間 取 : 現況調査報告書「建物間取図」のとおり
保守管理の状態	著しく劣る
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり
特 記 事 項	経年劣化により建物の老朽化が進んでおり、傷みや汚れも多く見られる。扉の開閉も困難な状況である。

4 土地の概況及び利用状況等 (物件3)

位 置・交 通	JR姫新線 美作大崎 駅 の 北東 方直線約 750 m (「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	古くからの住宅が散在している住宅地域	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別 的な規制を考慮しな い一般的な規制)	都市計画区分 : 非線引都市計画区域 用 途 地 域 : 用途指定なし 建 ぺ い 率 : 60 % 容 積 率 : 200 % 防 火 規 制 : 建基法第22条区域 その他の規制 : なし	
画 地 条 件 (規模・形状等)	規 模 : 31m ² 間 口 : 約 11.0 m 奥 行 : 最大約4m 形 状 : 不整形 接面状況 : 中間画地 地 勢 : 略平坦	
接 面 道 路	方 位 : 北側 幅 員 : 約3.5m 舗 装 : 有 種 類 : 市道 (大崎179号線) 高低差 : 略等高 摘 要 : 42条2項道路	
土地の利用状況 及び隣地の状況等	雑種地である。隣地も雑種地である。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : 有 ガス配管 : 無 下 水 道 : 無	※供給処理施設における「有」とは対象物件の前面道路に該当施設の本管 (以下施設管という) が通っており、通常の費用で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「無」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役所での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用出来るかどうか不明な場合をいう。
特 記 事 項	周辺の土地と一体として、ブルーシートに覆われている。 電柱が存する。	

第5 評価額算出の過程

I 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 土地

対象物件が所在する地域の標準画地価格を求め、これに評価対象地の個別格差修正及び必要に応じて建付減価補正を行い土地価格を判定した。

i 標準画地価格の査定

(標準画地の概要) (A 地域)

種 別 : 住宅地域
 街路 幅員 : 約 3.5m
 地 積 : 約 500 m²
 間口・奥行 : 約20m×約25m
 形 状 : 略長方形
 高 低 差 : 略等高
 接面 状況 : 中間画地
 そ の 他 : -

地域符号	公示価格等 (円/㎡) ア	時点修正 イ	標準化補正 ウ	地域格差 エ	規準価格等 (円/㎡) オ	標準画地価格 (円/㎡) カ
A	5,770	$\frac{98}{100}$	$\frac{100}{100}$	$\frac{100}{75}$	7,540	7,540
	公示地 津山-7	公示価格等 の価格から 時点評価で の変動率で ある。	公示地等 画地標準 の件を補 正的に補 正した。	街路条件、交 通接近条件、 環境条件、行 政的条件等の 格差を考慮し て査定した。	オ：ア×イ×ウ× エ	規準価格等を参考 に周辺取引事例 等を検討の上 で査定した。

ii 建付地等の価格

物件番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	持分割合 ウ	地積 (㎡) エ	建付減価補正率 オ	建付地等価格 (円) カ
1	7,540	0.70	1.00	761.00	0.50	2,010,000
	A 地域	一部竹林 0.70	-	登記数量	地域との適合性・敷地との適応性等を考慮のうえ査定した。	カ：ア×イ×ウ×エ×オ
		相乗積 0.70				
3	7,540	0.63	1.000	31	1.00	147,000
	A 地域	形状 0.90 雑種地 0.70	-	登記数量	地域との適合性・敷地との適応性等を考慮のうえ査定した。	カ：ア×イ×ウ×エ×オ
		相乗積 0.63				

② 建物

当該建物の再調達原価を求め、これに耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用した減価修正を行って、建物価格を判定した。

物件番号	再調達原価 (円/㎡) ア	持分割合 イ	現況延床面積 (㎡) ウ	現価率 エ	建物価格 (円) オ
2 主	154,000	1.00	158.17	0.015	365,000
2 附属1	36,300	1.00	33.09	0.015	18,000
	建物建築費の推移動向、消費税の課税等も考慮した標準的な建築費に比準して求めた。	-	登記数量	耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して査定した。	オ：ア×イ×ウ×エ

2 積算価格の判定

前記により求めた価格に、必要に応じて、土地については土地利用権等を考慮した底地等割合を乗じ、建物については土地利用権等価格を加算し、競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 底地価格

物件番号	建付地価格 ア (円)	底地等割合				底地価格 (円) エ：ア×イ×ウ
		細符号	制約権利等	イ 面積割合	ウ 底地等割合	
1	2,010,000	-	法定地上権	1.000	0.50	1,005,000
		計	-	1.000	-	1,005,000
3	147,000	-	なし	1.000	1.00	147,000
		計	-	1.000	-	147,000

② 土地利用権等価格

物件番号		建付地価格 ア (円)	土地利用権等割合				土地利用権等価格 (円) エ：ア×イ×ウ
			細符号	土地利用権等	イ 面積割合	ウ 権利等割合	
2	1	2,010,000	-	法定地上権	1.000	0.50	1,005,000
			計	-	1.000	-	1,005,000

③ 土地利用権等付建物価格

物件番号	建物自体の価格 ア (円)	土地利用権等価格 イ (円)	土地利用権等付建物価格 ウ：ア＋イ (円)
2	383,000	1,005,000	1,388,000

④ 内訳価格及び一括価格(積算価格)の査定

物件番号	底地価格及び 土地利用権等 付建物価格 ア (円)	占有減価 修正 イ	市場性 修正率 ウ	競売市場 修正率 エ	その他減価 オ	積算価格 カ (円)
1	1,005,000	-	1.00	0.70	1.00	703,000
2	1,388,000	1.00	1.00	0.70	1.00	972,000

3	147, 000	1. 00	1. 00	0. 70	1. 00	103, 000
一括 (物件1～3)	2, 540, 000	—	—	—	—	1, 778, 000
	上記①②③参照	必要なし	必要なし	不動産競売市場の特殊性等を考慮のうえ査定した。	必要なし	カ：ア×イ×ウ ×エ×オ

II 収益価格の試算

対象不動産は現在、所有者が使用しており、想定収益を用いて計算することは実現性の観点から誤解を生じる可能性もあるため、収益還元法は適用しなかった。

III 評価額の決定

以上により求めた積算価格を妥当なものと認め採用し、本件評価額を標記のとおり決定した。

第6 参考価格資料

1 地価公示価格等

地域符号：A
 番号：津山-7
 所在：津山市原字ナル108番1外
 価格：5, 770 円/㎡
 位置：高野駅5. 2km (道路距離)
 価格時点：令和5年1月1日
 地積：980 ㎡
 供給処理施設：水道、下水
 接面街路：南3. 5m市道
 都市計画区分：非線引都市計画区域
 用途指定等：用途指定なし (60・200)
 地域の概要：農家住宅が見られる市役所支所に近い住宅地域

2 固定資産税評価額

(令和 5 年度)

物件番号	種類	固定資産評価額	摘要
1	土地	3,991,451 円	—
2	建物	341,417 円	—
3	土地	1,801 円	—

※ 参考価格資料のうち地価公示価格等は、当該不動産の評価額を算定するに当たって参考とした価格である。決定した評価額は不動産競売を前提とした価格であり、固定資産評価額とは、その性質を異にしている。

第7 附属資料の表示

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 土地建物位置関係図

以 上

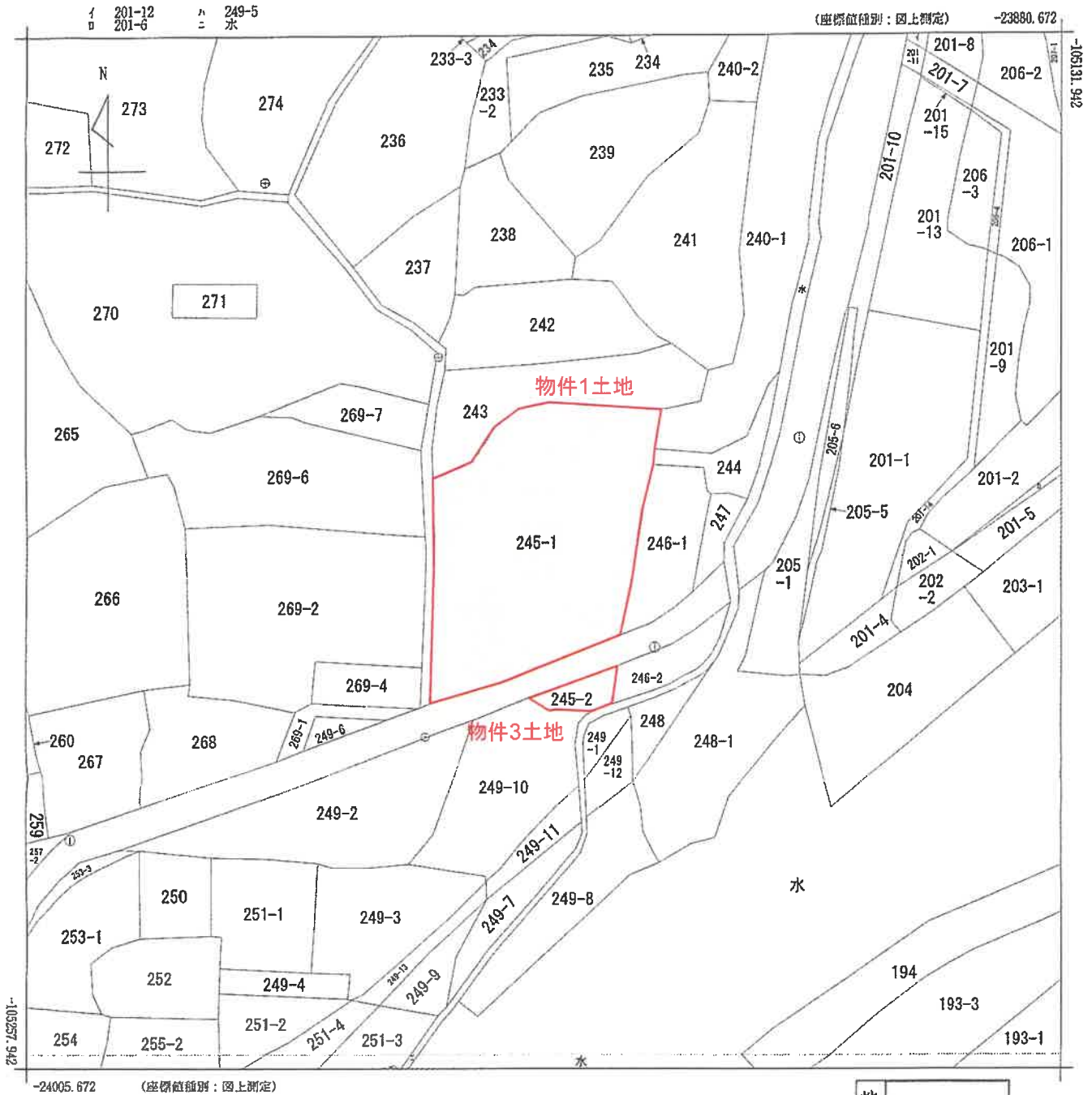
位置図

S = 1:10,000



津山市都市計画図

公 図 写



A3を概ねA4に縮小コピーしたものである

地番区域見出し
新田

請求部	所在	津山市新田字回り屋				地番	245番1		
出力縮尺	1/500	精度区分	乙一	座標系又は記号	V	分類	地図(法第14条第1項)		種類 地籍図
作成年月日	昭和38年5月			備付年月日(原図)	昭和54年4月5日			補記事項	

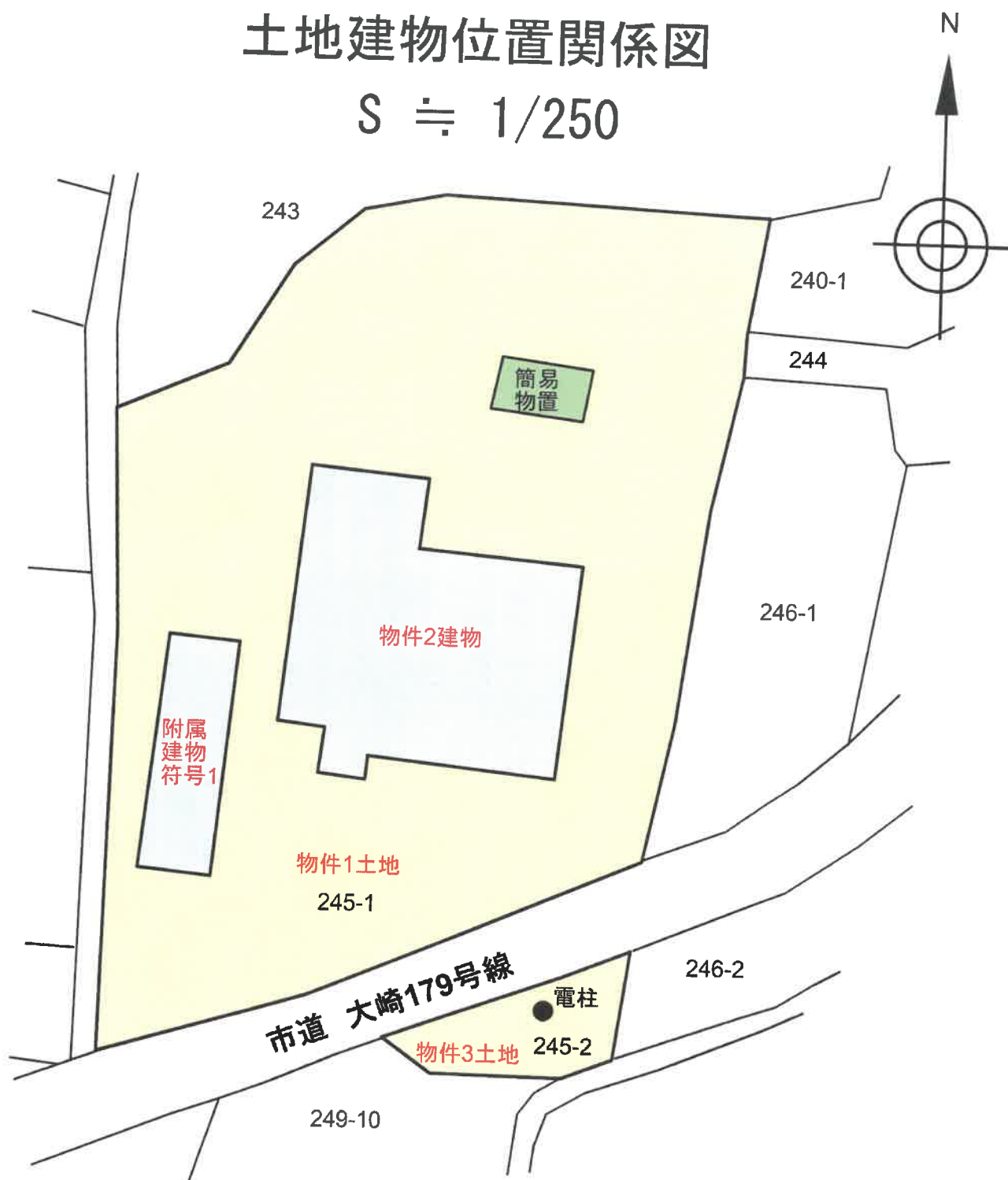
これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和5年12月20日
岡山地方法務局津山支局
登記官

請求番号：9-1
(1/1)

土地建物位置関係図

S ≒ 1/250



※本図に示す土地建物の範囲及び位置関係は概略であり、正確な測量等によるものではないことに留意して下さい。